

【新エネルギー】

英国、再可エネ使用義務証書 ROCs をめぐる動き

ROCs とは 2002 年 4 月に導入された再生可能エネルギー使用義務制度に基づき発行される証書である。

同制度は消費される電力に含まれる再生可能エネルギーの使用比率の引き上げをねらって創設されたもので、電力供給事業者にその販売電力のある一定の割合を再生可能エネルギーから調達する義務を課している。その割合は 2002 年 4 月 1 日から 2003 年 3 月 31 日までは 3.0% であり、その後 2010 年まで毎年その割合は増えつづけ、2010 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日までは 10.4% である。

電力供給者は同制度によって求められている再生可能エネルギーからの調達を OFGEM (the Office of Gas and Electricity Markets: ガス・電力市場局) が発行する ROCs の獲得により達成するか、もしくは OFGEM によって定められている「買い取り価格(Buy-out Price)」を支払うことによって達成するか、のどちらかを行わなければならない。

ROCs は再生可能エネルギー発電量に応じて再生可能エネルギー発電業者が OFGEM から受け取るものである。したがって再生可能エネルギー発電が増えれば、ROCs の流通量が増えて価格は下がってくる。しかし、再生可能エネルギーの普及が進まないと ROCs の価格は際限なく上がってしまう。この価格の上昇による電力供給者の負担を抑えるために、ROCs 以外の定額の方法として「買い取り価格」が設定されている。

ROCs は発電された電力の売却に付随するものではなく、発電された電力とは別個に売買される。再生可能エネルギー発電は火力発電などの従来型の発電に比較して一般的に高コストであるが、再生可能エネルギー発電事業者は ROCs の販売により発電電力の売却に加えてさらに追加的にコストの回収を進めることができる。

「買い取り価格」は現在 6 円/kWh であり、今後は小売価格指数と連動して価格が上下することになっている。

ROCs の発行・移転登録などを行う OFGEM は 2 月 17 日、2002 年 4 月から 9 月までの ROCs の発行枚数を発表した。

地域別ではイングランド、技術別では埋め立てガスが多い。埋め立てガスとは、ゴミの埋立場で埋められたゴミが腐食するときに発生するガスのことで、主成分は多くの場合メタンガスである。

表1 月別発行数

発行月	ROCs 発行枚数
2002年 4月	377,191
5月	401,368
6月	394,064
7月	347,162
8月	331,677
9月	338,133
合計	2,189,595

ROCs は 1 単位 1,000kWh

表2 地域別・技術別発行数

単位：枚

地域 技術	イングランド	ウェールズ	スコットランド	合計
埋め立てガス	1,159,201	19,165	42,408	1,220,774
風力	121,312	131,733	133,125	386,170
バイオマス	233,862	-	3,657	237,519
小水力	9,300	40,571	161,381	211,252
下水ガス	82,188	-	-	82,188
化石燃料とバイオマスの混焼	51,692	-	-	51,692
合計	1,657,555	191,469	340,571	2,189,595

ROCs は正確には英国内のイングランドとウェールズに適用される RO(Renewable Obligation：再生可能エネルギー使用義務制度)のもとで発行される証書であるが、スコットランドでも同様の制度 ROS(Renewable Obligation Scotland)が定められている。

OFGEM が ROCs の実施機関として指定した NFPA(Non Fossil Purchasing Agency：非化石燃料購入機関)は 1 月 20 日、1 月 16 日に行われた ROCs の入札結果を発表した。1 ROCs の落札価格は 9.492 円/kWh で、これは昨年 10 月に行われた入札時の落札価格の 9.426 円/kWh をわずかに上回る。今回の入札では 64,337 枚の ROCs が落札された。

1 ポンド = 200 円で換算。

情報協力：JETRO 大淵 啓嗣・監修：NEDO